

蛸み 蛸み 蛸み 通信

(有)林庭園設計事務所
〒193-0823 東京都
八王子市横川町 991-6
TEL：042-622-8840

再刊 VOL.5

冬芽と葉痕を
楽しもう！！



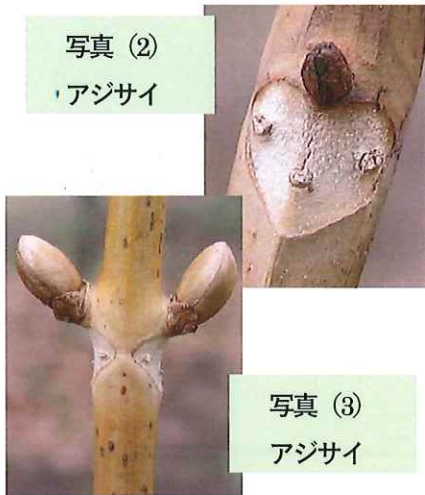
写真(1) イヌエンジュ

特に八王子駅北口の駅前前の街路樹にこのベニバナトチノキが植えてある。この木は、マロニエとも呼び、あの

写真の(1)のイヌエンジュは、アカシヤの一種で、写真(4)や写真(5)のトチノキと共に、最近街路樹として良く見ることが多い。

冬は、どうしても花が極端に少なくなる季節です。そんな時それを逆手にとって、春を迎えるための冬芽や、もはや葉を落とした痕、そう葉痕を観察してみるのはどうでしょうか？ わざわざ、山や林に出かけなくても、庭にある樹木や、身近な街路樹にも意外と面白いものがあるもの、一寸と外に出てみては！

フランスのパリ、モンマルトルの街路樹として有名で、シャンソンでも良く唄われている。写真(2)と写真(3)は、皆様



写真(2) アジサイ

写真(3) アジサイ

も良く知る、庭木でもっとも多く使われている、アジサイの葉痕です。日頃、花は観察するが、こんな、冬の葉痕を見ることは、ほとんどなかったのではないのでしょうか？

写真の(6)は、ハトノキという別名があり、中国の標高2000mの森の中に自生するものですが、まさに、その名の通りその花は、白いハンカチが、ぶら下がったり、白いハ



写真(6) ハンカチノキ

トが、羽を広げている様です。でもこの頃、庭木に用いる人も多く、この八王子の各家の庭でも、目にすることも稀ではなくなった。寒い冬でも部屋にこもることなく、たまには街に出たり、ましてや自宅の庭に出て、日頃良く見ているはずの、庭木達の冬芽や葉痕達のトンガリ帽子を被った、小さな小さな妖精たちに出会うのも、案外冬の楽しみになるかもしれません。

一層、近くの低山の、森や林でも一緒に、出かけてみましょうか？



写真(5) トチノキ↓



写真(4) ベニバナトチノキ↑



タヌキモ



ムジナモ

今年の年越しはせめて、狸ソバとしましうか。

少ない。

東京の麻布に狸穴(まみあな)町というところがあるが、昔は、東京でも、出没談を良く聞くことがあったが、ここ多摩地区でもジブリのアニメで描かれた、平成狸合戦ぽんぽこの様に、彼らに出会う事は極めて少ない。



狸と貉

歳時記によると、タヌキとムジナは冬の季語とのこと、ムジナとはアナグマなんだそう。二つ名を冠した、植物と言えば水生植物である藻となる。

タヌキ藻は、小さな黄色の可憐な花を咲かせる、でも可憐さに似合わず食虫植物でもある。一方ムジナ藻は、綺麗な水でないと言つことなく、今や絶滅危惧種となつてしまった。

埼玉県羽生市では、休耕田に、渡良瀬川の清水を引き、市をあげての保存活動に取り組んでいる様子が、先日テレビで放映されていた。